第４講　国民所得・国富と経済成長・景気

１　フローとストック

①フロー

一定期間（通常は一年間）における財・サービスの**流れ**，すなわち経済活動を示す概念。

②ストック

一定時点における資産の**蓄積**を示す概念。

２　国民経済におけるフローの指標

①総生産額

国民によって一年間に生産された財・サービスの市場における総額。

②国内の生産と国民の所得

A　**国内総生産〔GDP〕**

国内の総生産額－中間生産物。一定期間に一国内で新たに生産された**付加価値**の合計。

B　**国民総生産〔GNP〕**→ 2000 年以降は**国民総所得〔GNI〕**

GDP ＋海外からの純所得。国民総支出〔GNE〕と等しい。

C　**国民純生産〔NNP〕**

GNP －**固定資本減耗〔減価償却費〕**。

D　**国民所得〔NI〕**→狭義の国民所得

NNP －**間接税**＋**補助金**。

E　**三面等価の原則**

生産・分配・支出の三側面から測定した**広義の国民所得**（GNI・NNP・NI などの総称）は同額という原則。

※生産国民所得＝分配国民所得＝支出国民所得

③新たな指標

A　既存（きそん）の指標の限界

たとえばGDPは，市場で取り引きされる財・サービスのみを計算したものなので,家事労働やボランティアなど市場を介さない活動は含まれない。また，環境破壊などによる経済的損失も考慮されない。

B　**国民純福祉〔NNW〕**

GNI（もとのGNP）に余暇（よか）や家事労働・ボランティアを換算して加え，環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標。

C　**グリーンGDP**

GDPから固定資本減耗〔減価償却費〕を差し引き，さらに環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標。

D　新国民生活指標

国民生活を８領域に分け，４つの評価軸から複数評価。

E　その他の指標

持続可能性指標，幸福度指標，人間開発指数，国民総幸福など。

３　国民経済におけるストックの指標

①国富（こくふ）

国民資本ともいう。実物資産と対外純資産の合計。

A　実物資産〔非金融資産〕

あ　生産資産

１　在庫

２　有形固定資産

３　無形固定資産

い　有形非生産資産

B　対外純資産

②家計や企業などの金融資産→これは国富には含まない

４　経済成長

①経済成長

経済活動の規模が拡大すること。その原因は，資本の蓄積（ちくせき）・技術革新・教育による労働者の能力向上など多岐にわたる。

②経済成長率→名目（めいもく）（経済）成長率と**実質（経済）成長率**

一定期間における経済成長の速度。通常は**国内総生産〔GDP〕の対前年増加率で測定**する。しかし，物価が上昇してしまえば数値が伸びてしまうので，物価変動分を修正した**実質国内生産量〔実質 GDP〕**が用いられており，財・サービスの価格変動を示す指標である **GDP デフレーター**を使い算出される。

※インフレ傾向下では名目 GDP が実質 GDP より高く，デフレ傾向下では実質 GDP が名目 GDP より高くなることが多い。

※国民**１人当たり GDP** も重要な指標として算出されている。

〈*Note*〉

５　景気

①景気変動〔景気循環（じゅんかん）〕

景気の山→谷→山→谷を繰り返す。

A　**好況**〔好景気〕

B　**後退**

急激な景気後退を**恐慌（きょうこう）**という。

C　**不況**〔不景気〕

D　**回復**

②景気循環の４つの波

A　**キチンの波**

約 40 カ月周期の短期波動。**在庫投資の変動**による。

B　**ジュグラーの波**→主循環

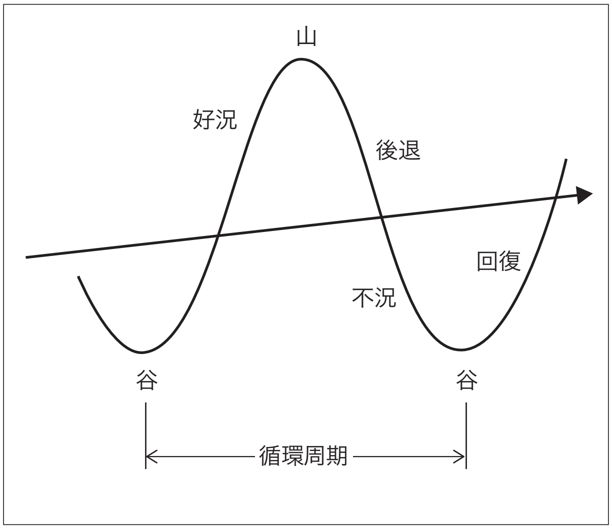
約 7 年〜 10 年周期の中期波動。**設備投資の変動**による。

C　**クズネッツの波**

約 15 年〜 25 年周期の中長期波動。**建設投資の変動**による。

D　**コンドラチェフの波**

約 50 年〜 60 年周期の長期波動。**技術革新〔イノベーション〕**による。



③景気政策

財政政策と**金融政策**を組み合わせる**ポリシー・ミックス**も有効。また，金融政策においてはインフレ率に一定の幅の目標を設定し，目標圏を守ろうとするインフレ・ターゲット政策をとる国も多い。

Ａ　好況〔好景気〕時

あ　財政政策

公共投資の抑制，増税などによる需要抑制策。

い　金融政策

高金利への誘導，マネーサプライの抑制。

Ｂ　不況〔不景気〕時

あ　財政政策

公共投資の増大，減税などによる需要拡大策，福祉予算の増大。

い　金融政策

低金利への誘導，マネーサプライの増大。

６　物価

①物価

多数の商品の価格を総合的・平均的に表したもの。

A　**消費者物価**と**企業物価**

B　**消費者物価指数**と**企業物価指数**

基準年の物価水準を 100 として，比較年の物価水準を指数で表したもの。

②インフレーション〔インフレ〕→持続的な物価上昇

物価水準や賃金が持続的に上昇する現象。

A　原因による分類

あ　**ディマンド・プル・インフレーション**〔需要インフレ〕

総需要が総供給を上回り発生。需要側に原因がある。財政インフレ・信用インフレ・輸出インフレなど。

い　**コスト・プッシュ・インフレーション**〔費用インフレ〕

費用の増加が価格に転嫁され発生。供給側に原因がある。賃金インフレ・輸入インフレなど。

う　構造的インフレーション

現代経済の構造的特徴・複合的要因により発生。生産性格差インフレなど。

B　程度による分類

あ　**クリーピング・インフレーション**

い　**ギャロッピング・インフレーション**

う　**ハイパー・インフレーション**

③デフレーション〔デフレ〕→持続的な物価下落

物価水準や賃金が持続的に下落する現象。物価の下落が継続して起こり，不景気を長引かせることを**デフレスパイラル**とよぶ。

※賃金には下方硬直性があるので，人員整理などが行われやすい。

④スタグフレーション

景気後退下の物価上昇。スタグネーション〔景気停滞〕とインフレーション〔物価上昇〕の合成語。1970 年代の石油危機後に使用されるようになった。

〈 ***Note*** 〉

第４講　確認テスト

1　国内の総生産額から中間生産物を引いて算出されるフローの指標とは？
①国内総生産〔GDP〕　②国民総所得〔GNI〕
③国民純生産〔NNP〕　④国民所得〔NI〕

2　三面等価の原則の「三面」としてふさわしくないものを選べ。
①生産　②分配　③支出　④福祉

3　GNI（もとの GNP）に余暇（よか）や家事労働・ボランティアを換算して加え，環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標とは？
①国民純生産〔NNP〕　②国民所得〔NI〕
③国民純福祉〔NNW〕　④グリーン GDP

4　2021 年現在，国内総生産〔GDP〕で世界上位５カ国に入らない国とは？
①日本　②中国　③ロシア　④アメリカ

5　急激な景気後退を何というか？
①インフレーション　②スタグフレーション
③デフレスパイラル　④恐慌

6　設備投資の変動により発生する，「主循環」ともよばれる約７年～ 10 年周期の中期波動を何というか？
①キチンの波　②ジュグラーの波
③クズネッツの波　④コンドラチェフの波

7　財政政策と金融政策を合わせた景気対策を何というか？
①ポリシー・ミックス　②デフレスパイラル
③マネーサプライ　④ GDP デフレーター

8　次のうち，総需要が総供給を上回り発生し，需要側に原因がある現象とは？
①ディマンド・プル・インフレ　②コスト・プッシュ・インフレ
③構造的インフレ　④デフレスパイラル

9　景気後退下の物価上昇を何というか？

①ハイパー・インフレーション　②イノベーション

③スタグフレーション　④デフレスパイラル

10　９の状況は，資本主義社会で何年代以降にみられたか？

① 1940 年代　② 1960 年代　③ 1970 年代　④ 2000 年代

解答

1	①	2	④	3	③	4	③	5	④
6	②	7	①	8	①	9	③	10	③